

会議結果のお知らせ

1 開催した会議の名称

令和7年度第2回岩手県大規模事業評価専門委員会（現地調査）

2 開催した日時

令和7年7月14日（月）11：10～16：00

3 開催場所

中山の園整備事業（滝沢市、一戸町）

4 出席委員

狩野徹委員長、島田悦作委員、松木佐和子委員、八重樫健太郎委員、山本英和委員
（8名中5名出席）

5 調査概要

中山の園整備事業（滝沢市、一戸町）【事前評価】

障がい保健福祉課から、資料No.2により事業内容について説明を行い、現地の状況について調査を行った。

■ 専門委員からの主な質疑等は次のとおり

【中山の園】

（質疑）

職員宿舎の利用状況はどうか。

（回答）

職員宿舎は9棟あるが、現在使われているのは2棟で、職員26人が利用している。

（質疑）

使われていない職員宿舎は解体するのか。

また、解体・撤去費用は整備費に見込んでいるか。

（回答）

現在地の定員が190人から120人に減員し、併せて職員数も減る予定であることから、7号棟のみ大規模改修し、他の職員宿舎は解体・撤去する。

また、解体・撤去費用は、整備費に見込んでいる。

（意見）

地下道を通して調理室から各棟へ食事を運搬し、配膳までの温度管理に苦労されている状況が分かった。

設計に当たって、現場の声を聴きながら職員の負担が減るように検討いただきたい。

【岩手県立一戸病院】

（意見）

施設用の調理室や洗濯室を設置する想定は理解したが、病院の設備を共用するなど効率的な運用も含めて検討いただきたい。

【みたけの杜】

(質疑)

みたけの杜で導入しているクックチル（翌朝食分の調理・冷蔵保存）によって、調理師の勤務負担の軽減につながっているとのことだが、他の類似施設でも導入可能か。

(回答)

クックチル対応の冷蔵設備が必要だが、導入可能と考えられる。

(質疑)

近年の光熱費の状況は如何か。

(回答)

特に冬場の光熱費が大きく高騰している。

新しい施設は、ZEB Ready 相当で建設予定とし、光熱費の抑制を図ることとしている。

(意見)

みたけの杜と同規模の施設を隣接地に建設した場合、隣接地の土地が概ね使用される状況が分かった。

6 会議資料

現地調査資料

○資料 No. 1 現地調査行程表

○資料 No. 2 現地調査箇所位置図及び説明資料

○参考資料 令和7年度第1回大規模事業評価専門委員会の審議概要

※ 会議資料については、行政情報センターへ配架するとともに、県のホームページに掲載します。

(現地調査のため、議事録の作成はありません)

7 傍聴人数

一般 0人、報道 0社

8 問い合わせ先

〒020-8570 盛岡市内丸10番1号

岩手県政策企画部政策企画課 TEL：019-629-5181 FAX：019-629-6229

9 ホームページアドレス

<https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/hyouka/hyoukasenmon/1086023/1086034.html>

10 その他

政策等の評価について御意見がありましたら、上記問い合わせ先まで FAX 等でお寄せください。今後の専門委員会での審議の参考とさせていただきます。